

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】平成23年1月13日(2011.1.13)

【公表番号】特表2007-524927(P2007-524927A)
 【公表日】平成19年8月30日(2007.8.30)
 【年通号数】公開・登録公報2007-033
 【出願番号】特願2006-538552(P2006-538552)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 12/00 5 3 3 J

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成22年11月15日(2010.11.15)
 【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0014
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0014】

上記のことから、情報を非対称的に管理するためのシステム及び方法に対するニーズがあるのであり、該システム及び方法には、(1) ユーザ用の1以上の階層におけるデータを 僅かばかりの該ユーザの介入で若しくは該ユーザの介入無しに同期化すること、及び (2) 僅かばかりの該ユーザの介入で若しくは該ユーザ介入の必要なく、且つ実質的に複製されたエントリーを発生する又は書き込む事無しに、2以上のエントリーに関するデータを1つのエントリーにマージすることが含まれる。

【誤訳訂正2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0016
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0016】

この発明の一例によれば、同期化システム(又はエンジン)は、階層選択モジュール、構文解析モジュール、比較モジュール、マップ(又はリンク)モジュール、同期化出力モジュール及び同期化ルールモジュールを含む。これらモジュールは、ソフトウェア、ハードウェア、あるいは、それらの組み合わせにより実施されてよい。これらモジュールは、互いに通信可能に接続されている。

【誤訳訂正3】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0017
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0017】

階層選択モジュールは同期化のために1以上の情報の階層の間で選択する。構文解析モジュールは前記階層のデータを 構文解析するもので、比較モジュールは重複するデータを特定するためにデータを比較する。マップモジュールは、どの特定の階層、情報及び/又は情報が、特定の関係において互いにリンクされているのかを判断する。マップモジュールは、また、リンク関係のための独特の識別子を提供するために構成される。同期化モジュールは、同期化ルールリンク関係に基づき前記階層のデータを同期化する。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0018

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0018】

この発明の一例において、同期化処理は、1以上のフォルダの階層間でフォルダを同期化する処理を含む。前記処理は、互いにリンクすべき1以上の階層を選択するステップと、前記選択された階層のフォルダを不変の識別子を用いて比較するステップを含む。前記処理は、また、前記選択された階層の各々のフォルダをフィールドについて構文解析するステップと、前記構文解析されたフォルダのフィールドを比較するステップを含む。そして、前記処理は、前記解析されたフォルダのフィールドの比較に応じて発生された1以上の競合ルールに基づき前記選択された階層の前記フォルダを同期化するかどうか判定する。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0022

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0022】

この発明の一実施例に係るマージ処理は、ネットワーク内の2以上のフォルダを1つのフォルダにマージすることを含む。前記方法は、第1のフォルダのエントリーと第2のフォルダの間の重複エントリーを特定するために、前記第1のフォルダのエントリーと前記第2のフォルダのエントリーを比較するステップを含む。前記第1のフォルダのエントリーの識別子と前記第2のフォルダのエントリーの識別子との間でマッチがあれば、1つのエントリーが重複であると判定される。前記処理は、前記第1のフォルダの前記特定された重複エントリーをグループ化し、また、前記第2のフォルダの前記特定された重複エントリーをグループ化する。前記処理は、また、マトリクスを生成し、そこにおいて、2以上のマトリクスエントリーがある。各マトリクスエントリーは、グループ間で特定された重複エントリーをマージすることに連携された値を含む。また、マトリクスエントリーは、特定された重複エントリーをマージするための範囲を決定するために割り当てられた値に基づきマッチングされる。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0094

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0094】

次に図7を参照すると、これは、この発明の一実施例に係る同期化エンジンの論理的見取り図を描いている。同期化エンジン(システムとみなしてもよい)は、階層選択モジュール710と、構文解析モジュール720、比較モジュール730、マップ(又はリンク)モジュール740、同期化(又はsync)出力モジュール750、及び、同期化(又はsync)ルールモジュール760を含む。これらモジュール710, 720, 730, 740, 750, 760は、ソフトウェア、ハードウェア、あるいは、それらの組み合わせにより実施されてよく、互いに通信可能に接続されている。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0097

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 9 7 】

図 7 に戻ると、構文解析モジュール 7 2 0 は前記階層のデータを構文解析するもので、比較モジュール 7 3 0 は重複するデータを判断（又は同定）するためにデータを比較する。マップモジュール 7 4 0 は、どの特定の階層及び / 又は情報が、特定の関係において互いにリンクされているのかを判断するモジュールである。図 8 b は、後述する通り、2 つの装置 8 4 0 , 8 4 5 間の情報のお互いと、プライベートネットワーク 1 0 0 のサーバシステム 1 1 2 のデータベース 1 1 4 に記憶されたユニバーサル（又はサーバ）アドレス帳とを如何にして同期化するかについての論理の見取り図の一例を描いている。

【 誤訳訂正 8 】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 1 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 1 1 0 】

プロセス 9 6 5 においてフォルダを構文解析し、所定のデータが同一であるかどうかを調べるためにプロセス 9 7 0 においてその内部のデータフィールドを比較することにより、比較処理が実行される。なお、これは例えば、独特のユーザ識別子 8 6 0 ないし 1 以上の所定のデータフィールドの比較を通じてなされるものである。重複が見つかった場合、同期化ルールモジュールのポリシーによって詳述されたとおりの競合解決ルールを用いて、それを解決し、プロセス終了 9 8 0 の前に、同期化を実行する。

【 誤訳訂正 9 】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 1 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 1 1 3 】

この発明は、また、フォルダ単位で同期化するための同期化エンジン及びプロセスの構成を提供するものであり、同期化可能な重複をユーザが意図的に維持できるようにする。同期化可能な重複を維持するために、メンバー 1 0 4 は、どのフォルダが同期化可能であるかを決定する。同一フォルダ内の重複エントリは不変の識別子を用いて同期化される。この不変の識別子は、サーバシステム 1 1 2 によって割り当てされる。更に、メンバー 1 0 4 は、異なるシステム間（例えば、P I M アドレス帳 8 4 2 とユニバーサルアドレス帳 8 5 0 ）のマッピングを同定又は確立する必要がある。

【 誤訳訂正 1 0 】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 1 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 1 1 4 】

同期化処理が開始したら、エントリは、異なるシステム上のフォルダ間の不変の識別子がそれらの各データフィールド（例えば 8 7 5 ）のいずれかにおいてマッチするならば、重複であるとみなされる。この一例は、同一の電子メールアドレス（他の例としては同一なインスタントメッセージ識別子や携帯電話番号が含まれる）である。電子メールアドレスのないエントリは、他の適宜のデータフィールド、例えば、姓名など、を用いて比較せられる。

【 誤訳訂正 1 1 】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 2 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 1 2 1 】

また、フィールドは、比較実行時にいくつかのフィールド値が同等とみなしうるような方法で同期化されてもよい。例えば、電話番号"(a b c) d e f - g h j i"は" a b c - d e f - g h j i"と同じである、ここで、アルファベット文字は何らかの整数乃至ダイヤルパッド上の文字に相当する。同様に、"最後、最初"を持つエントリーは、"最初最後。"に同等とみなせる。なお、同等なフィールドは、競合解決のための潜在的な介入を限定するために、ユーザまたはプライベートネットワーク 1 0 0 の中央サーバの管理モジュールによって、予め定められてよい。

【 誤訳訂正 1 2 】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 2 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 1 2 3 】

この発明に係る同期化システム及び処理は、階層化されたフォルダのセット、例えば、独立して、あるいは、他の階層のサブセットにおいてアップデートできる連絡先情報フォルダなど、の認識を含む有利点を提供する。この発明は、また、好ましくは、いろいろな装置間のいろいろな階層での同期化処理の最中に、競合解決に基づくポリシーをセットし強要することを可能とする。したがって、ユーザは、多様な階層又はレベルの同期化について制御と柔軟性を増すのである。

【 誤訳訂正 1 3 】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 3 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 1 3 2 】

図 1 1 a ~ 1 1 c に戻ると、図 1 1 a において、プロセス 1 1 1 0 において P I M アドレス帳エントリーを処理することで処理が開始する。処理には、プロセス 1 1 1 5 での重複を特定し、該重複をグループ化する処理が含まれる。図 1 1 b は重複を特定する処理が描かれている。処理が開始し、マッチングのために独特の識別子例えば 8 6 0 を特定する。例えば、この P I M アドレス帳の例では、独特の識別子は電子メールアドレスである。それから、処理はプロセス 1 1 6 0 においてその電子メールアドレスに関するマッチングがあるか判断する。1 つのエントリー内のいずれかの電子メールアドレスが 1 以上の他のエントリー内のいずれかの電子メールアドレスにマッチしていれば、これらエントリーは重複であるとみなされる。どちらのエントリーにも当該電子メールアドレスが含まれないならば、個人名、会社名、電話番号などを含む他のデータフィールドの識別子が比較のために使用される。マッチが特定されたら、これら重複エントリーは、結局、プロセス 1 1 6 5 においてマトリクススコアリングのために処理され、そしてプロセス 1 1 7 0 にて処理は終了する。

【 誤訳訂正 1 4 】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 3 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 1 3 9 】

この発明は、好ましくは、たとえ 2 以上のフォルダ及び / 又はエントリー間の情報が異なっても、互いにマージされるべき 2 以上のフォルダ及び / 又はエントリーからフォルダ又はエントリーの 1 つのセットを作るような方法でデータをマージする。この発明は、また、マージのためのフォルダマッピングによるメンバー 1 0 4 の介入を最小限にして、そのときにフォルダ内の情報をマージするために予め定められたマージポリシーを使用

するような方法でのマージ処理の自動化を好ましく可能とするであろう。更に、この発明は、好ましくは、競合の数を最小化するようマージされるべきエントリーのインテリジェントなマッチングによって実行される必要があるマージすることの総量を最小化する。